



自衛隊の特殊車両が大集合

～東京モーターショー併催イベントに参加～



関心を集めた自衛隊特殊車両



東京地本は、平成27年11月7日から8日の間、第44回東京モーターショー2015の開催に合わせ、東京ビックサイト前において開催されたイベント「働くくるま・珍しいくるま大集合！」に広報ブースを開設した。

「働くくるま・珍しいくるま大集合！」は、臨海ホールディングスグループが主催し、東京モーターショーと併催される自動車のコミュニケーションイベントであり、働くくるまの代表として、自衛隊、警察、消防の特殊車両の他に首都高速道路の整備車両等が展示されており、一部の車両では、乗車出来る体験型の展示が実施されていた。

また、開催された場所が、東京ビックサイトに花道のように続くシンボルプロムナード公園ということもあり、11月7日から8日の間に東京モーターショーに会場した約17万人の多くが、「働くくるま・珍しいくるま大集合！」に会場していた。

広報ブースでは、関東・東北豪雨における災害派遣活動のパネル展示・制服等の試着を行うとともに、第1普通科連隊の支援を受け、高機動車、軽装甲機動車を、第1特殊防護隊の支援を受け、化学防護車の展示を実施した。2日目の11月8日はあいにくの雨模様の天気にも関わらず、自衛隊展示車両の周りは常に人だかりとなっていた。

来場者の中には、東日本大震災で被災された方もおり「高機動車を見ると、被災地を何度も往復して救助活動していた事を思い出し、自衛隊への感謝の気持ちで一杯になる」等、多くのあたたかい言葉を頂いた。

東京地本はより多くの国民に防衛省・自衛隊の活動について理解をさらに深めてもらえるよう、今後も様々なイベントの場を活用し広報活動を実施していくとしている。

大学生に対し熱弁

～東京地本本部長が東京大学において講義を実施～



東京地本本部長 梶原直樹陸将補は、平成27年11月18日、東京大学工学部大講堂において工学部3年生等約190名に対して「産業総論」の講義を実施した。

本講義は、平成16年以降、東京大学院工学系研究科機械工学専攻教授の依頼に基づき、実施しているものである。

当日は、「軍事と科学技術」と題し、「科学技術と「軍事革命」、「今日の民生技術と軍事技術」、「軍事技術の趨勢と将来の戦い」等について平易に解説した。

特に、「軍事技術の趨勢と将来の戦い」の項目の中で、無人化技術について動画を積極的に活用し、実例を解り易くまとめて紹介した。学生も興味深く講義を受講している様子だった。

また、講義の合間には、関東・東北豪雨における災害派遣活動について映像を用いて紹介し、自衛隊の活動への理解の促進を図った。受講した学生からは「防衛省内では、どのように技術研究がされているのか」や「研究者のキャリア形成はどのようになされているのか」等、防衛省の技術分野のみならず、防衛省という組織に対する質問が出るなど、国防を担っている防衛省への関心の高さが見て取れた。

東京地本は引き続き、大学での講義等の機会を通じ、防衛に関する理解の拡大に努めていくとしている。